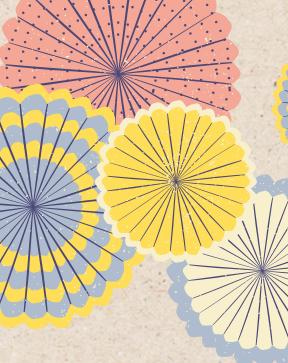


# R7.11.25 つき組保育ドキュメンテーション



駐車場のユリの木の葉っぱも  
キレイに色付き、葉っぱを触ったり  
落ち葉を踏んだりする中で、  
音や感触からも秋から冬への  
自然の変化を感じとっている子ども達。  
澄み切った秋晴れの青い空の下で、  
みんなで、はいチーズ☆  
葉っぱを何枚も拾って  
落ち葉のブーケを作ったり、  
ペンで顔を描いてみたりと、  
自然物に触れて楽しんでいます。





部屋に先日撮った集合写真を貼ると、  
「おっきい木だったよね！」  
「太っちょ（木の幹のことかな！）な木！」  
見て感じたことを口々にし、会話をする子ども達。  
「どのくらいだったかな？」という話になり、  
大きい紙に描いてみることに！  
「もっと大きかったよ！」  
「迷路みたいな！（枝分かれのこと！）」  
子ども達がイメージした木を大きな紙に描くと…  
「クレヨン持ってくる！！」と次々に集まり、  
「一緒に塗ろう！」と、塗り絵が始まりました！





どんどんお友だちが増え…



「木の色ってどうだった？」  
「茶色！」 「黄色も見えた！」  
子ども達の感じ方は人それぞれ。  
きっと紅葉した葉っぱの色の  
印象が頭に残り、  
木から生えている葉っぱを含めて、  
黄色の木に見えたのかな…?  
子どもの感性は無限大♡  
すると、「こんな色も見えた！」と、  
重ねて塗る子も出てきて、  
とっても神秘的な木に！！



後日完成した木を切り抜いて、  
壁に貼ると、大喜び！！  
すると今度は、  
「これじゃ、寂しい…」  
「木にはカブトムシがいるよ！」  
「カブトムシ作ろう！！」と  
会話が弾むS君とI君！！



カブトムシの本を見ながら、一生懸命描こうとするお友だち。  
カブトムシの他に、小鳥やお花…次は、葉っぱも作る！！と  
意気込んでいるところです！どんな木になるのかな？  
子ども達のイメージを形にし、みんなでつき組の木作りを  
引き続き楽しんでいきたいと思います！！